

森づくり サポーターニュース

びわこ地球市民の森

Vol. 82

令和4年9月10日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター) 〒524-0102 滋賀県守山市水保町2727
TEL:077-585-6333 FAX:077-585-6312
biwako@moridukuri.info https://www.moridukuri.info

より豊かな生態系の森を目指して (2)

里の森北駐車場西側に、全園で最後に植樹した木々は今年で丸8年が経ちました。樹齢は10年で樹高はクヌギで8m程になっています。つどいのゾーンに最初に植えた木々は丸20年、樹齢は22年になりました。こちらは幹の直径も随分太くなり、今後は手ノコでの間伐が困難な木々が増えていきます。公園の木々も四阿や橋、園路、水路等と同様に施設の一つです。間伐や枝打ちをしながら、大切に育てていかなければなりません。

施設点検をしていた時に、森の植樹地の中に足を踏み入れました。足元は落ち葉が腐葉土となり、その上にまた落ち葉が折り重なってふわふわの状態です。あちこちにサルノコシカケをはじめ数種類のきのこが生えています。思わず撮ってしまった写真を載せました。表土(A層)は、キノコなどの菌類や地面の中にいるミミズ、甲虫(こうちゅう)の仲間などの力で腐葉土となり、厚くなっていきます。



サルノコシカケ科のキノコ

生き物調査は、生物多様性の保全調査が専門の業者に依頼しています。今年度は昆虫などの節足動物の調査です。施設点検と夏の調査の日が重なり、ふれあいゾーンで調査員に出会いました。捕虫網で草むらの中のいろんな虫が居そうなところをすくっていました。この日は、奈良の正倉院の国宝「玉虫厨子」にもその羽(はね)が使われているタマムシがいたとのことで大変驚きました。先の点検では水辺でカワセミ(翡翠)を見ました。よく見る方もおられるかも知れませんが、私はこの森では初めてでした。また、以前に来館者でトンボに詳しい方がおられて、センターの前でオニヤンマによく似た「ウチワヤンマ」(尾の先に近い所にウチワが付いているように見える)を見つけ追いかけていました。私はその時初めてその名前を知りましたが、以前から知らずに見かけていたかも知れません。調査員とは、ウチワヤンマが話題になり、森で見かけたとのことでした。



タマムシ



カワセミ



ウチワヤンマ(サナエトンボ科)

菌類や土壌動物が分解者になり、増え、生産者(植物)、消費者(動物)の食物連鎖が繰り返されることにより、さらに豊かな生態系になっていくことを期待したいと思います。

「自然観察と森のクラフト教室」開校！

びわこ地球市民の森では、森の手入れで間伐された木材などを利用し、今年度から新たに「自然観察と森のクラフト教室」を始めました。子どもから大人まで想像力を膨らませて、世界に一つだけの作品に挑戦しませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察と森のクラフト教室日程【予約制】 時間：10:00～11:30

10月8日(土)	タケで「ポックリ」「一輪挿し」づくり 参加費 300円 モウソウチクでポックリを、マダケで一輪挿しを作成
11月5日(土)	ドングリ工作 参加費 200円 森の様々なドングリでトトロなどのキャラクターを作成
12月3日(土)	木の実に「クリスマスリース」づくり 参加費 500円 森のドングリや木の実を飾ったクリスマスリースを作成
1月14日(土)	木の枝で「ひな人形」づくり 参加費 200円 木の円盤などを加工して男びな、女びなを作成
2月4日(土)	「シイタケのホダ木」づくり(大人対象) 参加費 2,000円 確実なシイタケ発生を確保するためのホダ木を森で管理
3月11日(土)	「シイタケのホダ木」づくり(大人対象) 参加費 2,000円

※先生の説明のもと一緒にクラフト作りを行います。



竹ポックリ



ドングリ工作



クリスマスリース



ひな人形



シイタケのホダ木



一輪挿し



ツバキの実で
カブトムシを作りました



江見先生がクラフト作りをお手伝い



ツバキの実で
カブトムシを作りました

また、予約なしでも、木工工作ができる「**かんたんクラフトチョイス**」もやっています。
森に遊びに来た時など、気軽に立ち寄って楽しんでください。

1 作品 3 0 0 円です。 時間：8:30～17:00(最終受付16:30)



クラフト作りの材料を5～10個選びます



木工用ボンドでつけて、マジックで色塗ります



世界に一つだけの作品と一緒に記念撮影



素敵な作品が出来上がりました



第2回森づくりサポーター活動 開催！

令和4年7月23日(土)、心配していた雨も止み、時おり夏の日差しがのぞく中、今年度2回目の森づくりサポーター活動が開催されました。

当日は、森づくりサポーター94名、ガールスカウト16名、計110名の多くの皆さんが参加し、石上所長のあいさつと作業内容の説明があったあと、森の中での活動が始まりました。

森づくりサポーターの皆さんは、里の森ゾーンで2班に分かれ、平成22年～24年に植栽された常緑樹と落葉樹が生育する混み合った森の間伐・枝打ちと、墓地周辺の生垣にはびこるクズ類の除去などの作業を行いました。

曇り空でしたが、太陽も顔を見せるなど蒸し暑い天候の中での作業で、サポーターの皆さんは熱心に作業に取り組み、森は明るさを増して爽やかな風が森の中に行きわたり緑の木々が一層元気になったように見えました。



開会式の様子



植栽地の間伐・枝打ち作業



墓地周辺の生垣の除草作業



一方、ガールスカウトの皆さんは、江見先生の指導のもと、森づくりセンター周辺で、「カモフラージュ」というネイチャーゲームを楽しみました。これは、森の中にあらかじめ隠しておいた色や形の異なる物を探し、生きものが外敵から身を守る様子などを学ぶものです。事前に設定した森の中に隠されている物をいくつか探すかを競い、簡単に探せる物や探しにくい物などの色や形を観察し、生きものが巧みに色や形を工夫し身を守る生態について勉強しました。



事前にリーダーが色や形の異なる物を森の中に隠します



隠された物を子どもたちが探し見つけた数を報告します



外敵から身を守る生きものの様子を学びました

当日は、新型コロナウイルスの影響が続くなか、また暑い天候のもとでの作業でしたが、ボランティアの皆さんの熱気あふれる活動により、森も活気が出てきたように感じました。参加していただきました皆様、本当にありがとうございました。次回のサポーター活動は、令和4年10月2日(日)に予定しています「森のつどい」と併せて計画しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

間伐材を使った 新しいゲーム「モルック」紹介!

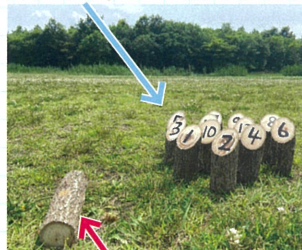
森づくり
トピックス

「モルック」という競技をご存じですか? フィンランド発祥で、「モルック」と呼ばれる木の棒を投げて、「スキttl」と呼ばれる12本のピン(高さ10cm程度の円柱形の木)を倒し得点を競います。

「モルック」の魅力は、木の棒を投げるだけのとても簡単なゲームですので、老若男女問わず誰でも楽しめることです。ルールもシンプルながら奥深い戦略性もあるので、初心者から経験者まで幅広い方に楽しんでいただけます。

今後サポーターの皆さんや来園者の方々に「モルック」というゲームを実際に体験してもらい、その楽しさを知っていただきたいと思います。暑い日、寒い日、雨の日でも室内で「モルック」を楽しめるよう準備しています。道具は森で間伐された木材を活用しており、貸出も考えています。ルールはお越しいただいた時説明しますので、興味のある方は是非森づくりセンターまでお問合せください。

スキttl(1~12の数字が記載)



モルック(長さ30cm、径5cm程度)

ゲームの様子



人工芝を敷いて
屋内でも楽しめます!



お知らせ

びわこ地球市民の森のつどい2022 ならびに第3回森づくりサポーター活動のご案内

今年度は森のつどいを秋に開催し、併せてサポーター活動を実施します。
本格的な秋を迎え絶好の季節です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催期日 令和4年10月2日(日)

開催場所 びわこ地球市民の森(里の森ゾーン)

活動内容 自然とふれあいウォーク、体験ブース活動等

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100~200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13~H25
植樹活動参加者数	45,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(R3)	241,551人
森づくり活動参加者数(R3)	3,418人
うち育樹活動参加者数(R3)	2,549人



年4回開催しています森づくりサポーター活動は、令和に入ってからこれまで12回のうち、屋外で森の作業が実施できたのが3回と非常に少ない状況でした。コロナの影響もありましたが、天候に恵まれない日が多かったようです。

今回も戻り梅雨で開催が心配されていましたが、当日は夏空の晴天のもと予定どおり森の作業を行うことができました。サポーターの皆さんの熱気で、森の木々も活力を得たように感じました。